

新宿中央公園の整備概要

区立公園最大の面積を誇る新宿中央公園について、公園の特色や西新宿のまちの魅力を十分に活かし、憩いや賑わいのある誰もが足を運びたくなる公園としていくため、平成29年9月に、公園づくりの基本的な計画となる「新宿中央公園魅力向上推進プラン」を策定した。

現在、本プランに基づき、公園の整備を順次進めているところであり、令和5年度は、増加する来園者の利便性向上を図るため、自転車駐輪場の整備を行う。

1 「新宿中央公園魅力向上推進プラン」の概要（別紙概要版参照）

（1）目指す公園の将来像

だれもが誇りと愛着をもてる「憩い」と「賑わい」のセントラルパーク

（2）目標とする計画期間

平成29年度（2017年度）から概ね20年後の公園の将来像を示して、その実現を目指していく。

2 これまでの主な実績

- ・ちびっこ広場における大型複合遊具の再設置（平成29年度実施）
- ・公園トイレにおけるネーミングライツ事業（平成30年度から実施）
- ・芝生広場及びポケットパークの整備工事（令和元年～2年度実施）
- ・民間事業者による交流拠点施設（シュクノバ）の設置（令和2年7月施設開業）
- ・「眺望のもり」及び「新宿白糸の滝」の整備（令和2年度実施）
- ・「ちびっこ広場」の再整備工事（令和3～4年度実施）
- ・案内サイン設置工事（令和4年度実施）

3 令和5年度の実施

（1）自転車駐輪場の整備（別紙1参照）【みどり公園基金を活用予定】

自転車で来園する利用者の増加に対応するため、北東側の入口（ポケットパーク）付近及び北西側の入口付近に公園利用者専用の自転車駐輪場（200台程度）を新設

（2）「花のもり」の設計（別紙1参照）

四季を通じて魅力的な花の名所となる「花のもり」の整備に向けた設計業務を実施

4 今後の主な予定

- ・「花のもり」の整備工事